

中央公民館あり方検討 建物の考え方

29.12.8

(1) 中央公民館（建物）を残して使う（耐震改修）

メリット

デメリット

機能を今の場所に残す

① 今の建物を残して耐震化

- ・そのままの姿、町のシンボリックなものが残る
- ・耐震基準を満たす

- ・耐震改修費用がかかる
- ・機能改修が必要ならその費用もかかる
- ・規模はそのままなので維持管理経費はそのままかかる

② 今の建物を小さく（減築）して耐震化

- ・耐震基準を満たす
- ・ホールがいらなくなればそこを撤去する
→ 3,000 m²を1,500 や2,000 に減築する
- ・小さくなるので維持管理経費は減る

- ・撤去する部分の手当、費用が必要
- ・機能改修費用も必要
- ・結果、耐震改修費用があまりさがらないことも考えられる

(2) 中央公民館（建物）を解体する → 新築・廃止

③ 解体して適切な規模、性能を有する新しい建物（公民館）を建築する

- ・耐震基準を満たす
- ・適切な規模、要求されている性能が手に入る
- ・維持管理経費は下がる

- ・解体、新築費用は必要
- ・解体費用については、ホールは閉鎖してそのままとし、数年先に計画という選択肢も

機能をほかへ移す

④ 今の建物を解体して他の施設へ機能転用

- ・費用は解体のみ
- ・空いた土地の新しい利用を考えられる
- ・町の施設を見直すことにつながるので維持管理経費は下がる

- ・移転した先で、転用できるように施設改修が必要なことも
- ・場所が変わることで住民が不便になる可能性

<庁内部会 A3 資料、
社会教育サークル確認>

<住民アンケート>

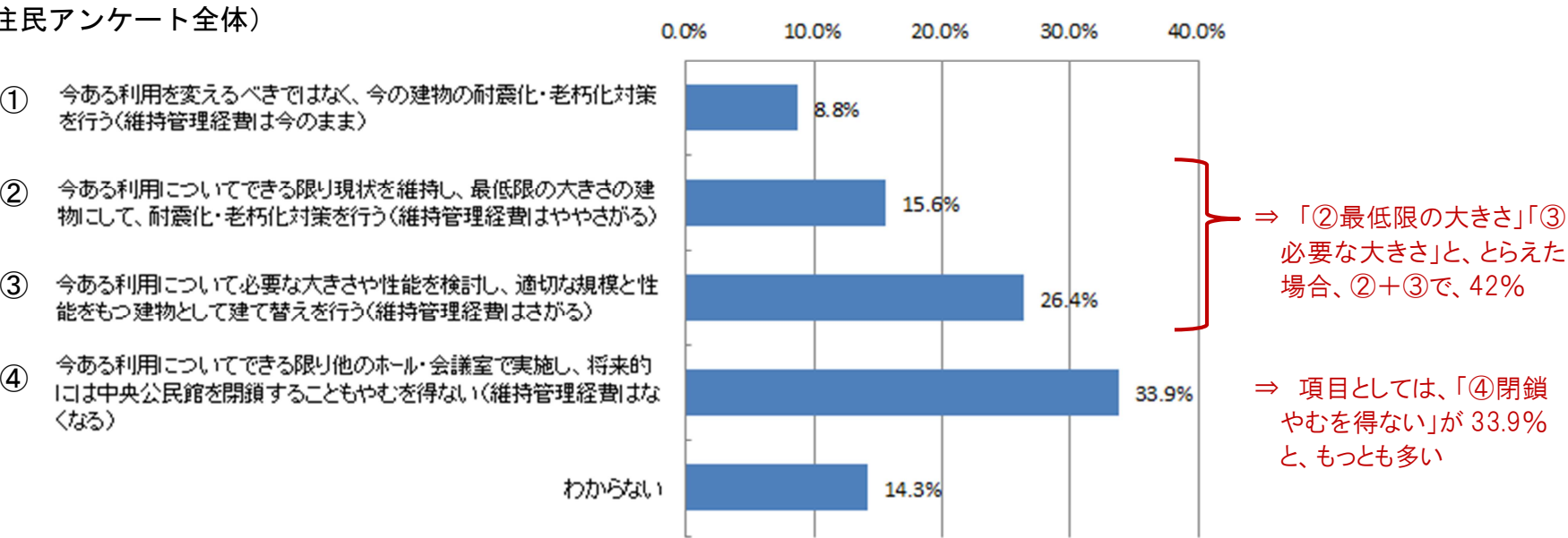
…機能を残すか、ほかへ移すか

住民アンケート・文化サークルアンケート結果抜粋

問 10 将来の生涯学習環境を見据えて、どのような公民館の建物が望ましいか

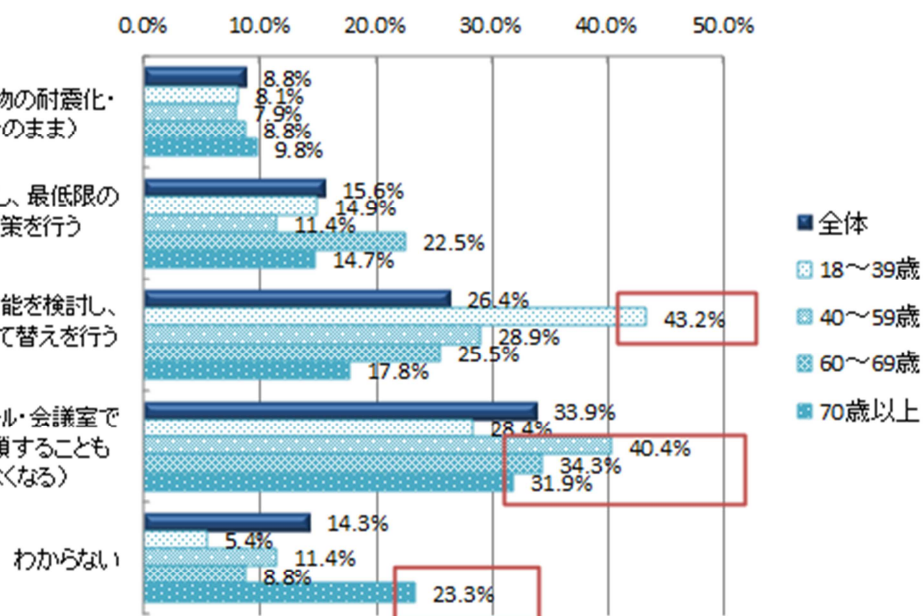
	(構成比)	(回答数)
今ある利用を変えるべきではなく、今の建物の耐震化・老朽化対策を行う(維持管理経費は今のまま)	8. 8%	40
今ある利用についてできる限り現状を維持し、最低限の大きさの建物にして、耐震化・老朽化対策を行う(維持管理経費はややさがる)	15. 6%	71
今ある利用について必要な大きさや性能を検討し、適切な規模と性能をもつ建物として建て替えを行う(維持管理経費はさがる)	26. 4%	120
今ある利用についてできる限り他のホール・会議室で実施し、将来的には中央公民館を閉鎖することもやむを得ない(維持管理経費はなくなる)	33. 9%	154
わからない	14. 3%	65
無回答	0. 9%	4
	100. 0%	454

(住民アンケート全体)



(年齢別 集計)

- ① 今ある利用を変えるべきではなく、今の建物の耐震化・老朽化対策を行う(維持管理経費は今のまま)
- ② 今ある利用についてできる限り現状を維持し、最低限の大きさの建物にして、耐震化・老朽化対策を行う(維持管理経費はややさがる)
- ③ 今ある利用について必要な大きさや性能を検討し、適切な規模と性能をもつ建物として建て替えを行う(維持管理経費はさがる)
- ④ 今ある利用についてできる限り他のホール・会議室で実施し、将来的には中央公民館を閉鎖することもやむを得ない(維持管理経費はなくなる)

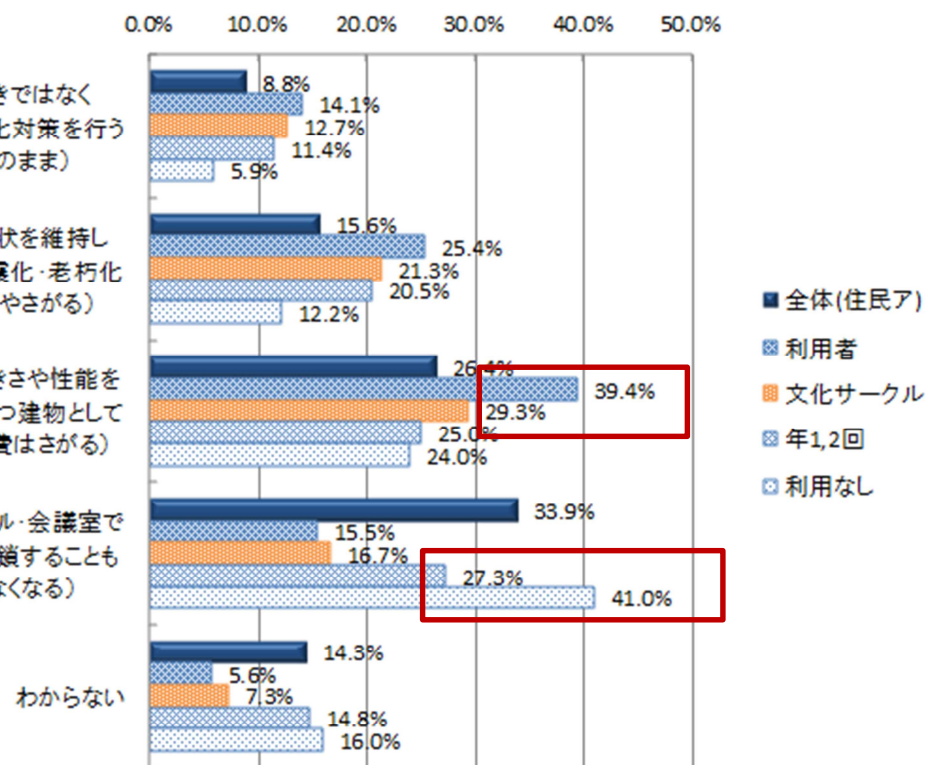


⇒ 18～39歳では、「③適切な規模で建て替え」がもっとも多い

⇒ 40歳以上では、「④閉鎖やむを得ない」がもっとも多い

(利用の有無・文化サークル別 集計)

- ① 今ある利用を変えるべきではなく、今の建物の耐震化・老朽化対策を行う(維持管理経費は今のまま)
- ② 今ある利用についてできる限り現状を維持し、最低限の大きさの建物にして、耐震化・老朽化対策を行う(維持管理経費はややさがる)
- ③ 今ある利用について必要な大きさや性能を検討し、適切な規模と性能をもつ建物として建て替えを行う(維持管理経費はさがる)
- ④ 今ある利用についてできる限り他のホール・会議室で実施し、将来的には中央公民館を閉鎖することもやむを得ない(維持管理経費はなくなる)



⇒ 利用者・文化サークルでは、「③適切な規模で建て替え」がもっとも多い

⇒ 年1,2回・利用なしでは、「④閉鎖やむを得ない」がもっとも多い